



タウンミーティング

小泉内閣の国民対話



[トップへ戻る](#)

タウンミーティング イン 奈良 [議事要旨]



経済政策、消費喚起への提案

- ・米国のように、規制を全面的に撤廃し、市場論理を貫徹するのが理想のように言われているが、最近の米国における株価の低下や景気の悪化に対してどう考えるのか。(会場)
- ・日本は要らぬ規制が多く甘い規制も多いのが問題で、実施すべきは規制緩和であり、規制撤廃ではない。米国も事後チェック制度になり、罰則といった事後規制は厳しくなっている。経済は必ず調整が起こるが、市場活力を取り入れた米国が他の経済より長期的なトレンドで伸びているのは事実である。(竹中大臣)
- ・米国では、日本以上に廃業があるが、その廃業以上に新規に開業されている。チャレンジすることに政府も支援していく。(松田副大臣)
- ・骨太方針には、新ビジネス創出や土地の流動化などの消費喚起策が少ないのではないかと。預貯金を多く保有している高齢者がお金を消費する政策が必要ではないか。(会場)
- ・消費者は賢く、どうすれば消費が増えるかは難しい問題であるが、将来の不安があると消費しないから、将来が安心できる仕組みを示すことが重要である。(竹中大臣)
- ・遺産相続の生前預託制度を導入して相続税減税をすればどうか。(会場)
- ・生前贈与により、世代間の所得移転を進めるべきと考える。(竹中大臣)



竹中大臣発言

[RealPlayerで見る](#)

[Windows Mediaで見る](#)



松田副大臣発言

[RealPlayerで見る](#)

[Windows Mediaで見る](#)



教育改革

- ・教育内容の削減はやめるべき。道徳教育を小中高で導入すべき。(ミーティング参加者)
- ・ボランティア活動を通じて学校や親から学べないことが学べる。(ミーティング参加者)
- ・英会話は国際理解教育ではなくひとつの手段に過ぎない。自分や自国が理解できないと国際理解にはならない。(ミーティング参加者)
- ・TV番組の倫理観低下が教育に対して悪影響を及ぼしているのではないかと。(会場)
- ・日本の学費は米国に比べて低く、それは学生レベルの低下にもつながる。しかし、教育以外にも、わが国発展のためにつぎ込まなければならない社会的経費はあり、そのためには無駄を削るしかないため、全体として考え直すのが本改革の趣旨である。(竹中大臣)



インフラ整備について

- ・道路特定財源の見直しも理解するが、観光上道路は重要。奈良まででなく、吉野まで主幹道路を整備してほしい。（ミーティング参加者）
- ・道路特定財源は見直しを進めているが、遅れているところをきちんと整備することは国と地方の役割である。（泉副大臣）



泉副大臣発言

[RealPlayerで見る](#)

[Windows Mediaで見る](#)



公務員制度の改革

- ・日本の公務員は優秀であり、公務員制度改革は国を背負っていく気概を失わないようにすべき。（ミーティング参加者）
- ・年少者の犯罪は、国会議員や官僚の汚職などが原因ではないか。（会場）
- ・規制は公務員の都合のよいものではないか。改革の優先順位を間違えると雇用不安が生じる。まず特殊法人改革をすべきではないか。（会場）



地方分権の推進、国と地方の役割

- ・国のあり方を具体的に示していただき、国、地方、民間がそれぞれの役割を果たすことが必要。地方分権には自主財源とともに、納税者に用途がわかるシステム（情報公開、説明責任）も必要。（ミーティング参加者）
- ・地方分権は小町村では無理。反対しているのは議員。市町村合併は国が法的にでも押し進めるべきではないか。（会場）
- ・市町村合併は、国が強制的に行うのではなく、合併しなければ損をする仕組みの下で、国民の皆さんが選ぶことと考える。（竹中大臣）



農林分野の構造改革

- ・森林は産業だけでなく環境面からも重要であり、国産林の再生が必要。そのためには費用と管理の負担の再構築が必要。地場材木の利用が進めば地場の経済と森林の保護が進むのではないか。（ミーティング参加者）
- ・住宅の品質確保に関する法律において、適用木材が大手住宅会社や族議員の意向によって決められているのではないか。（会場）
- ・森林基本法により、3つの機能で国としても林業を進めていくこととしている。（中谷大臣）



防衛問題について

- ・集団的自衛権や北方機動演習は中止すべきである。（会場）
- ・集団的自衛権については、今後国会で議論していくものであるので、賛否意見があれば大いにいただきたい。（中谷大臣）



中谷大臣発言

[RealPlayerで見る](#)

[Windows Mediaで見る](#)



政治への関心（国会、選挙制度）

- ・ TVで見ていると、国会は野次が多すぎる。（ミーティング参加者）
- ・ 専業主婦の母が政治に興味を示してきている。（ミーティング参加者）
- ・ 地方区で落選した候補者が、比例代表区で当選になるのはおかしい。（会場）
- ・ 国会議員は多すぎるのではないか。（会場）
- ・ 小泉内閣は、いわば指導的民主主義であり、明確なメッセージを示しているので、それに対して国民が意見するのが大切である。（竹中大臣）

総評

- ・ 会場から意見をいただく時間を多めにし、多くの意見をいただいたが、意見内容が批判要望だけではなく、いろいろと提案が行われ、これまで以上に対話型のミーティングとなった。

以上

なお、速報版のため、修正の可能性あり。

[問い合わせ先] 内閣府大臣官房タウンミーティング担当室 電話 03-5253-2111（代表）



[開催スケジュール](#)



[開催レポート](#)



[意見募集](#)



[ライブ中継](#)

[著作権・プライバシーポリシーについて](#)

[首相官邸](#)

[内閣府](#)

